

発行日 平成30年3月31日
 発行 一般社団法人 新潟県歯科衛生士会
 〒950-2086
 新潟市西区真砂3-16-10
 明倫短期大学内
 一般社団法人新潟県歯科衛生士会事務局
 ☎025(232)6351

すなやま

平成30年度介護報酬改定の概要

〔口腔衛生管理の充実〕

ア 口腔衛生管理体制加算の対象サービスの拡大〔新設〕月30単位

○ 歯科医師又は歯科医師の指示を受けた歯科衛生士による介護職員に対する口腔ケアに係る技術的助言及び指導を評価した口腔衛生管理体制加算について、現行の施設サービスに加え、居住系サービスも、対象とすることとする。

※1・特定施設入所者生活介護、地域密着型特定入所者生活介護、認知症対応型共同生活介護

〔算定要件〕

☆ 歯科医師又は歯科医師の指示を受けた歯科衛生士が、介護職員に口腔ケアに係る技術的助言及び指導を月に1回以上行っている場合

イ 口腔衛生管理加算の見直し

〔現行〕110単位

○ 歯科医師の指示を受けた歯科衛生士が、入所者に対して口腔ケアを行うことを評価した口腔衛生管理加算について、歯科衛生士が行う口腔ケアの対象者を拡大する観点から回数緩和をすること

にも、当該入所者に係る口腔ケアについて介護職員へ具体的な技術的助言及び指導を行うことで口腔衛生管理の充実を図るため、次の見直しを行う。

Ⅰ 歯科衛生士が行う口腔ケアの実施回数は、現行の月4回以上を月2回以上に見直す。

Ⅱ 歯科衛生士が、当該入所者に係る口腔ケアについて介護職員へ具体的な技術的助言

及び指導を行い、当該入所者の口腔に関する相談等に必要に応じて対応する事を新たな要件に加える。

〔算定要件〕

☆ 口腔衛生管理体制加算が算定されている場合

☆ 歯科医師の指示を受けた歯科衛生士が、入所者に対し、口腔ケアを月に2回以上行った場合

☆ 歯科衛生士が、当該入所者に係る口腔ケアについて、介護職員に対し、具体的な技術的助言及び指導を行った場合

☆ 歯科衛生士が、当該入所者に係る口腔ケアについて、介護職員に具体的な技術的助言及び指導を行った場合

〔現行〕

同一建物居住者以外

同一建物居住者

〔改定後〕

単一建物居住者が1人
 単一建物居住者が2～9人
 単一建物居住者が10人以上

〔改定後〕

同一建物居住者以外
 同一建物居住者
 単一建物居住者が1人
 単一建物居住者が2～9人
 単一建物居住者が10人以上

〔医療・介護の役割分担と連携の一層の推進〕

訪問介護の現場での利用者の口腔に関する問題や服薬状況等に係る気付きをサービス提供責任者から居宅介護支援事業者等のサービス関係者に情報共有することについて、サービス提供責任者の責務として明確化する。

理事 薄波 清美



歯科衛生士復職支援のための地域相談会、研修会（佐渡会場）

日時：平成29年12月9日（土）

時間：13時00分～15時30分

会場：佐渡中央会館 2F会議室

出席者：参加人数 23名

内容：

佐渡地域において「歯科衛生士のための復職支援相談会、研修会」が開催されました。

第一部 復職支援地域相談会

「様々な場所で勤務する歯科衛生士の紹介」

① 在宅歯科医療連携の歯科衛生士
 ② 地域歯科保健従事者の歯科衛生士
 ③ 診療所勤務の歯科衛生士

復職希望者と佐渡ブロック会員でグループディスカッションを行いました。復職希望者はいろんな働き方があることを知り、登録歯科衛生士や在宅歯科医療連携室についての質問や復職するにあたり問題になっていたり不安なこと、また、私の復職はこんなだったよ！と当時の経緯をシェアするなど限られた時間の中で積極的な意見交換が行われました。歯科衛生士の役割が期待される一方で、人材不足が深刻な現状。今回、相談会を行うことで参加者が歯科衛生士として復職したいという意欲も感じられ好印象な機会でした。復職希望者の今後に期待したいです。（佐渡ブロック会員9名、復職希望者4名、歯科医師勤務スタッフ10名）

職支援希望者4名

第二部 講演

「処方する」ブラッシングセミナー

講師：株式会社G.C

歯科衛生士

佐々木 沙羅先生

様々な歯ブラシが市販されている中、はたして患者様は自分に合った歯ブラシを選べているのか？患者様に合った歯ブラシを「処方する」をキーワードにお話していただきました。後半では歯ブラシとペーストを私たち自身が実際に使用し「処方する」ことを意識しながら体感させていただきました。大変有意義な研修会でした。（佐渡ブロック会員9名、復職支援希望者4名、歯科医師勤務スタッフ10名）

（佐渡ブロック 山城 利恵）

歯科衛生士のための就職・復職ミニ相談会・セミナー in 村上

日時：平成29年12月17日（日）

10時00分から15時00分

会場：村上市民ふれあいセンター

研修室2

参加者：49名（スタッフ含）

内容：

（午前）講演「今、歯科衛生士に求められること」

講師：新潟県歯科医師会

木戸寿明常務理事

働き方紹介

歯科診療所、地域活動、在宅歯科医療連携室、行政、社会福祉協議会

それぞれに勤務・活躍する歯科衛生士

歯科衛生士の紹介

グループミーティング、グループ発表

（午後）セミナー

内容「フッ化物とキシリトール」

講師：新潟大学大学院

医歯学総合研究科

口腔保健学分野教授

茂原明弘 先生

相談会では、講話、働き方紹介の後、5グループに分かれ、グループミーティングを行い、「今、困っている事」「知りたい事」をテーマに話し合い、更にグループ内で解決できること、できないことを話し合った。その後のグループ発表では、同時に課題解決に向け、会場内でやりとりをおこなった。

午後からのセミナーには、歯科

医院に勤務している歯科衛生士も

参加し、グループワークを通して、

お互いの交流も図られた。

歯科衛生士の役割が期待されている中、人材不足が深刻となっているが、村上市開催では、多くの歯科衛生士の参加が得られた。その状況から各ブロック各地域で研修会や相談会を開催することで人材確保につながると実感した1日であった。そのためには歯科衛生士会として、何をしなければならぬのかしっかりと地に足をつけていかなければならないと強く思った。（理事 高橋 純子）



平成29年度地域医療介護総合確保基金事業 在宅歯科医療支援事業「食支援多職種連携プロジェクト」 退院時食支援カンファレンスプロトコルシート作成ワークショップに参加して

日時：平成30年2月25日（日）
13時30分～16時40分

会場：新潟県歯科医師会館

地域包括ケアシステムの構築が進められている中、「食支援」の観点からのサポートが介護の現場で求められています。

今年度は、新潟県歯科医師会、新潟県歯科衛生士会、新潟県言語聴覚士会、新潟県栄養士会・栄養ケアステーション、病院の医師、歯科医師も数名、約65名の参加者により「退院時食支援カンファレンスプロトコルシートの作成」を目標とした基調講演とワークショップが行われました。歯科衛生士会からは各地区のプロック長と連携室歯科衛生士が参加しまし

た。病院と在宅・施設に関わる関係者が、問題点を十分理解できるような食に関する情報は、どのような必要があるか、基調講演などにも参考にグループワークを行いました。県内各地域、職種によっても認識にばらつきがあり、意見交換の中である程度の共通認識が作られたと思います。既に病院から病院、施設、在宅へ行くにあたり、連絡表を添えて連携を図っている所もあります。そのようなプロトコルシートが共通のもので活用され、県内の病院・施設・在宅で共通理解を得られ、その後も定期的なアセスメントや介入の中で、関係者が使って、問題点の再調整

が出来るようなものを現場は待ち望んでいます。一刻も早く作り、病院・在宅や施設の連携時にスムーズに連携し、高齢者の口腔機能維持管理に活用していくことを期待する会議でした。

(田辺 千佳子)



新潟市在宅歯科医療連携室 第1回研修会

日時：平成30年3月4日（日）
10時00分～12時00分

会場：新潟市歯科医師会
大会議室

演題：「訪問診療入門。誰にでもできる診療アシスト」

講師：新潟市歯科医師会 理事 桑原 秀也先生

研修会内容：

- 1 在宅歯科医療連携室について
の主旨説明
- 2 講義
- 1) 訪問診療に出かける際の準備
- 2) 訪問診療での診療補助
- 3) 歯科衛生士が行う介護者へ

の対応

- 4) 診療内容等の用紙の記入
実習・デモ
- 3 ポータブルユニットの組み立て、取扱い、片付け方法について
- 4 新潟市歯科医療連携室についての説明

まず最初に、今回の研修会開催について新潟市歯科医師会副会長 荒井節男先生より在宅歯科医療連携室の趣旨説明があった。これからの時代は、住み慣れた家を拠点に住んでいる地域での介護予防、生活支援の活動、健康状態等の変化によって生じるニーズに対応し

平成29年度 新潟県歯科衛生士会 第3回研修会報告

日時：平成30年3月25日（日）

会場：新潟県歯科医師会館
3階会議室

演題：「防ごう低栄養！食べてめざそう健康長寿」

講師：新潟県栄養士会新潟支部
地域活動事業部
管理栄養士
加藤 久美 先生

研修内容：

- 1 「低栄養」の危険
- 2 加齢による体の変化
- 3 バランスのよい食事
- 4 骨粗鬆症を防ぐ食事
- 5 「食欲がない」「嘔みにくい」「飲み込みにくい」時の工夫
- 6 高血圧・血糖値の気になる方への栄養指導
- 7 ごはんをおいしく食べるコツ

ていかなければならないということが分かった。

研修会では、桑原秀也先生より、歯科医療連携室は介護が必要で歯科医院への通院が困難な高齢者の方などを対象とした在宅歯科医療提供の場であることを分かりやすく説明して頂いた。また、先生が実際に往診に行かれる過程を映像で映しながら「往診」と「訪問診療」の違いや訪問診療で行う診療の内容、診療の流れをお話頂いた。また、歯科衛生士の方からは、往診へ行く際の道具の準備、診療をする際の介助のポイント、対応など衛生士目線の注意点等についても細かく説明頂きとても分かりやすかった。

今回は少人数での研修会であったので、デモでは実際に使用されているポータブルユニットをさわ



言葉に、思わず「はっ！」としました。確かに私も、自分の食事について「少し偏っている日もあるけれど、まあふつうだな」と思っています。加齢や疾病に伴う自分の体の変化を理解し、それに合わせて「若い頃より続けてきた、いつものふつうの食事」を変えることは、なかなか難しいことだと感じました。

加藤先生は、食事を「無理なく」「おいしく」「楽しみながら」とれるよう高齢者に指導しているとのことでした。「この食品を何グラム取ること」「BMIで20%を切らないように」と指導しても続きません。エビデンスに基づき、メリット・デメリットをしっかりと

頭に入れてもらいながら分かりやすくかみ砕いて指導することは、歯科衛生士の業務にも通じる大変興味深い内容でした。

先生は、地域でまだ管理されていない高齢者の栄養状態をどのように管理していくかが今後の課題だと話されました。これは、歯科も同様であり、健康長寿に向けて医療に携わるすべての者が考えなければならぬ早急な課題なのだと痛感しました。必要な食事を自由に取ることで「お口」の支援について、歯科衛生士としてしっかりと向き合っていきたいと感じたご講演でした。

平成29年度 歯科衛生推進フォーラム報告

日時：平成30年2月11日（日）
10時00分～15時30分

会場：ステーションコンファレンス 東京都

出席者：

都道府県歯科衛生士会会長または副会長
都道府県歯科衛生士会理事または他
は医療・介護等連携担当者
（新潟プロック長 上原 愛）

講演1「歯科保健を取り巻く状況について」

厚生労働省医政局歯科保健課 課長 田口 円裕 氏

講演2「2018年介護保険制度改正及び介護報酬改定の動向」

札幌市保健福祉局 母子保健・歯科保健担当部長
前 厚生労働省老健局老人保健課医療・介護連携技術推進官 秋野 憲一 氏

シンポジウム「歯科医療における地域連携を目指して」

基調講演「歯科保健医療を取り巻く状況と歯科衛生士に期待すること」

において少子高齢化の進展や疾病構造の変化に伴う歯科保健医療ニーズの変化について、次に2018年の介護保険制度改正と介護報酬改定の動向について講演があり、続くシンポジウムではその変化に相応する効果的な地域歯科衛生士活動を実践するための基調講演と、各方面で活躍されている歯科衛生士から実践発表があった。団塊の世代が75歳以上となる2025年に向けて国民1人1人が状態に応じた適切なサービスを受けられるよう、地域における効果的な介護予防等の取組から中程度の要介護者も含め、適切で質の高いサービスの提供体制実現に向けて地域や多職種との連携の中で歯科衛生士の果たす役割を確認する有意義な時間であった。



新潟県歯科衛生士会臨時総会を開催

平成30年3月25日(日)新潟県歯科衛生士会の臨時総会が開催され、平成30年度事業計画並びに予算の協議が行われ承認された。

特に新潟県における医療介護総合確保基金事業による在宅歯科医療連携室整備事業及び歯科衛生士確保推進事業においては、職域の拡大と組織率の向上を推進するため、積極的に取り組んでいくことが重要であることから引き続き県歯科医師会と密に連携し事業を推進することとする。

なお、新潟県歯科衛生士会主催で開催する研修会は下記の予定である。

■平成30年度研修会開催「速報」

【第1回】

日時 平成30年6月24日(日)
場所 県歯科医師会館
内容 小児障がい者歯科外来での保健指導(仮)

講師 新潟大学医学総合病院 歯科衛生士 近藤淳子先生

【第2回】

※新潟県歯科医学大会と併催
日時 平成30年11月11日(日)
場所 朱鷺メッセ

内容 周術期の口腔機能管理の実際(仮)

講師 東京都 歯科衛生士 池上 由美子先生

新潟県歯科衛生士会と新潟県歯科医師会 基幹連携室合同協議会を開催

平成30年3月11日(日) 13時30分、新潟県歯科医師会館において標記協議会が開催された。各連携室の運営は16の郡市歯科医師会が行っておりそれぞれの連携室により働く環境と業務内容は異なるが、当日は連携室業務に従事する会員が1年間の取り組み状況について報告を行い積極的な意見交換が行われた。

広報理事 石黒千代栄

【発表者は下記の通り】

- 新潟市在宅歯科医療連携室 高橋 歩
- 佐渡在宅歯科医療連携室 山城 利恵
- 上越歯科医師会在宅歯科医療連携室 榎井美貴子
- 柏崎市在宅歯科医療連携室 池田 美幸

【第3回】

日時 平成31年3月24日(日)
場所 新潟県歯科医師会館
内容 スケイラーのインスツルメンテーション(仮)

講師 笹出線歯科クリニック 歯科衛生士 坂井 由紀先生

※詳細については事前に会員発送のご案内致します。
※会員の参加費は無料



・村上市岩船郡在宅歯科医療連携室 中野 友美



矯正装置・マウスガード 義歯用除菌洗浄剤

新発売

デントムース

容量：300mL/ 無香料

洗浄成分W処方
お口のトラブルの原因菌までしっかり除菌

最短 30秒で除菌
短時間洗浄!毎食後にも使いやすい!

タバコのヤニも スッキリ落ちる

歯石防止成分配合
義歯の表面をツルツルにキープ!

発売元 (株)ビーブランド・メディコーデンタル 大阪市東淀川区西淡路5-20-19 TEL:(06)6370-4182

SUNSTAR

フッ素歯面塗布剤 [保険適用] 酸性泡タイプ
バター フローデンフォームA酸性2%
Butler Fluodent Foam A

フッ素歯面塗布剤 [保険適用] 中性泡タイプ
バター フローデンフォームN
Butler Fluodent Foam N

フッ化物塗布とフッ化物洗口 バターからの提案です。

フッ化物洗口剤 [薬価基準未収載] 液体
バターF洗口液0.1%
Butler F Mouthrinse 0.1%

BUTLER 効能・効果、用法・用量、使用上の注意などについては添付文書をご参照ください。

サンスター株式会社 〒569-1195 大阪府高槻市朝日町3-1
[資料請求先] 医薬品インフォメーションセンター TEL 072-682-4815

お口をやさしくケア ペプチサル・シリーズ

唾液のチカラに着目して開発された低刺激性のオーラルケア製品です。

Pepti-Sal

MouthGel
Mouthwash
Toothpaste

2種類のペプチド配合
ラクトフェリン配合
キシリトール配合
保湿成分配合
pH 中性域

アルコール無配合
パラベン無配合
発泡洗浄剤無配合

*1 ナイシン・ホリジン(清掃助剤) *2 (清掃助剤) *3 (甘味剤)

T&K ティーアンドケー株式会社 ☎ 0120-555-350
〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町1-5-7 TEL: 03-5640-0233 FAX: 03-5640-0232

ご期待に
ピタッと“はまる”
パートナー

私たちは、お客様にご満足いただくために、お客様の目的へともに歩むパートナーとしてつねに最適なメディア、サービスを提供いたします。

dip 株式会社 第一印刷 HP <http://www.dip.co.jp/> E-mail info@dip.co.jp

本社 / 〒950-8724 新潟市中央区合和町2丁目4番18号 第一和合ビル TEL (025) 285-7161代(営業本部)
東京本部 / 〒110-0003 東京都台東区根岸2丁目14番18号 第一根岸ビル TEL (03) 3871-4261代
本社工場 / 〒950-0134 新潟市江南区曙町4丁目6番18号 TEL (025) 382-7400代
中越支店・上越支店・佐渡営業所・クリエイティブ インフォメーション センター・情報工房DOC 朱鷺メッセ店・万代メディアショップ

会員の広場

県内の在宅歯科医療連携室で活躍している会員をリレーでご紹介します。今回は、新発田市歯科医師会在宅歯科医療連携室をご紹介します。

在宅歯科医療連携室とは、新潟県は新潟県歯科医師会の協力を得て、地域医療介護総合確保基金事業により在宅歯科医療連携室を県内16の郡市歯科医師会に設置しました。

在宅歯科医療連携室は、介護が必要で歯科医院への通院が困難な高齢者の方などを対象とした在宅歯科医療の申し込みや歯や歯ぐきの痛み、入れ歯がこわれた、合わない等、歯やお口のことで困っている方の相談に応じる地域の窓口であり、県民と歯科診療所を繋ぐ大切な役割を果たします。また、県内16郡市歯科医師会に設置された在宅歯科医療連携室は新潟県歯科衛生士会が人材の配置に協力し、多くの会員が在宅歯科医療連携室の様々な事業に従事しています。



「新発田市歯科医師会在宅歯科医療連携室の活動報告」



杉原 千代子
新発田市在宅歯科医療連携室（以下「連携室」）は、基金事業として新発田市歯科医師会に平成27年3月に設立されました。

その後、平成28年4月にかえつ在宅歯科医療連携室と名を改め、新発田地区救急診療所2階に事務所を移転し北蒲原歯科医師会と共同で運営を行っております。

- 連携室の主な事業内容は
- ・口腔に関する困り事相談窓口
 - ・訪問歯科診療の申し込み
 - ・介護施設との連携窓口
 - ・多職種連携のコーディネート
 - ・訪問歯科診療、口腔機能維持向上に関する地域住民への普及啓発
 - ・歯科衛生士の人材確保、スキルアップ研修

連携室での相談内容は、主に居宅介護支援事業所のケアマネジャーからの、要介護者等の訪問診療についてです。口腔状態と住環境を確認するために事前訪問してから歯科医師へつないでいます。連携室の周知活動から年々相談依頼件数は増えてきています。

当連携室事業で大きな実績を挙げている一つ、介護保険施設での口腔衛生管理（体制）加算に係る対応では、三つの施設で連携室登録歯科衛生士による定期的な口腔ケアの実施があります。

他に介護予防事業として、一般住民対象の「健口教室」の開催など、市役所高齢福祉課と連携しての事業等にも登録歯科衛生士が活躍しています。

超高齢社会の中で「歯科」の果たす役割は増すばかりで歯科衛生士の活動の機会は多くなっていると思われまます。

連携室では、県歯科衛生士会の協力を得て口腔ケア、認知症等の研修会や情報交換会を開催して知識・技術のスキルアップを図っています。連携室事業に関心をお持ちの方は、かえつ在宅歯科医療連携室にご連絡下さい。

会員の動き

会員数 590名

(平成30年3月31日現在)

- | | |
|----------|------|
| 1 上越ブロック | 56人 |
| 2 柏崎ブロック | 26人 |
| 3 長岡ブロック | 70人 |
| 4 県央ブロック | 48人 |
| 5 魚沼ブロック | 28人 |
| 6 下越ブロック | 51人 |
| 7 新潟ブロック | 293人 |
| 8 佐渡ブロック | 15人 |
| 9 県外ブロック | 3人 |

月刊「デンタルハイジーン」別冊 歯科衛生士のためのペリオドントロジー

伊藤 中・岡 賢二 編著

歯周治療を成功に導くために知っておきたい40のポイントをビジュアルに解説



- AB判 / 126頁 / カラー
- 定価 (本体3,300円+税)

歯科衛生士のための 歯科診療報酬入門

公益社団法人 日本歯科衛生士会 監修

歯科衛生士の業務にウエイトをおいて保険診療を解説したテキスト!



- B5判 / 240頁 / 2色
- 定価 (本体3,700円+税)

昨日まで磨けなかった隙間に、クラブロックス。



患者さんひとりひとりに、適切なサイズの歯間ブラシをご提案しましょう。

商品の詳細はこちらから



●発売元: 株式会社 **ヨシダ** 〒110-8507 東京都台東区上野7-6-9 TEL.03-6880-2155 (サポートセンター)

東北新潟歯科用品商協同組合加盟店

株式会社 カタギリ	株式会社 クワバラ	沖歯科要材 株式会社	有限会社 諸見里歯科商店	株式会社 田中歯科器械店 新潟支店
有限会社 石原歯科商店	合資会社 木村歯科商店	有限会社 安井歯科商店	株式会社 後藤歯科商店 長岡田口店	